平成２６年度　事務事業評価シート

章	2	自然とともに暮らすまち
節	3	安全に安心して暮らせるまちづくり
施策	Ⅱ	消防・救急救助体制の充実
目標		火災予防活動の強化や消防団の活性化など総合的な消防力を強化し、火災発生や被害を防ぐ。

	指標名	単位	基準値 H16	中間値 H21	実績値 H22	実績値 H23	実績値 H24	実績値 H25	実績値 H26	目標値 H27
指標①	建物火災の発生件数	件	13	7	11	11	8	4	-	6
指標②	火災のよる死傷者の割合	%	18.5	7.7	10.5	31.2	7.1	0.0	-	0

施策コード	施策の基本的な方向	主要な施策	具体的な内容
1-①	1　火災予防活動の推進	①　防火管理体制の強化	・地域住民と事業所等の連携による防火管理体制の強化に努めます。
1-②	1　火災予防活動の推進	②　防火思想の普及	・市民の防火、防災意識の高揚を図るための講習会や広報活動を強化するとともに地域、事業所の火災予防の普及啓発に努めます。 ・釜別市消防創設１００周年を平成２５年度に迎えるため、各種記念事業を実施し、消防活動の充実と市民の理解・協力に努めます。 ・事業所等における防火管理の知識、技術の向上を図るための防火管理講習会の定期的な実施に努めます。 ・住宅火災から死者数の低減を図るため「住宅用火災警報器」の義務化により住宅への設置普及に努めます。
1-③	1　火災予防活動の推進	③　防火査察の徹底	・防火対象物の査察を定期的に実施し、火災予防上必要な指導に努めます。 ・危険物施設への定期的な立入検査を通じ、技術基準の適合性について安全指導に努めます。 ・災害時要援護者を災害から守るため、一人暮らし等の高齢者査察を強化します。
1-④	1　火災予防活動の推進	④　消防団の活性化	・女性団員も含め新団員の確保等、消防団の強化に努めます。 ・消防団員の安全装備品の整備に努めます。
2-①	2　消防力の強化・高度化	①　消防施設、機器整備の高度化と効率化	・消防、防災活動の拠点として防災センター機能を備えた消防庁舎の建設を検討します。 ・効果的な出動体制を確立するため、消防施設の適正配置の検討及び老朽化した各施設の計画的な整備に努めます。 ・消防ポンプ自動車、救助工作車等、消防資機材の整備を順次進めるとともに、早急に必要とする場合は速やかな対応に努めます。
2-②	2　消防力の強化・高度化	②　消防用通信体制の整備	・消防救急デジタル無線の整備を行い、消防緊急通信指令施設の共同運用など消防機動力の高度化に努めます。
2-③	2　消防力の強化・高度化	③　消防水利の拡充	・水利不足地域の解消を図るため計画的に消火栓や防火水槽の整備に努めます。
2-④	2　消防力の強化・高度化	④　広域消防体制の整備と消防施設の適正配置	・災害対応型車両の導入やそれに対応した資機材の整備に努めます。 ・行政区域を越えた消防救急無線のデジタル化・広域化・共同化と消防指令業務の共同運営について広域的な体制の整備に努めます。

NO	施策	事業名【事務事業コード】	部名及びグループ名		開始年度	終了年度	事業区分	会計種別	Plan ・ Do																		Check			Action
									事業概要					事業の成果、目標								各年度の決算額、当該年度の予算額、今後の予算案 【 単位 ： 千円 】										第2期基本計画第3次実施計画期間中（H24～H26）における事業内容の変更・改善等の状況		評価	評価の判断理由、特記事項など（妥当性、有効性、効率性、成果）	今後の事業の方向性【H27以降】
									事業の目的	年度	対象者等 ※ハード事業の場合は、施設名を記載	事業の内容	根拠法令、条例、要綱等	指標名	単位	H24 実績	H25 実績	H26 目標	H27 目標	H28 目標	H29 目標	名称		H24 決算	H25 決算	H26 予算	H27 予算案	H28 予算案	H29 予算案					
1	1-④	消防団員貸与品購入事業 23214001	消防本部	消防総務G	－	－	ソフト	一般会計	それぞれの職業に従事する一方、市民の生命・身体・財産を災害から保護すると共に、被害軽減のため、昼夜を問わず火災予防啓蒙・訓練等に献身的に努力を続けられている消防団員に対し、貸与品の整備を行い、消防団の活気ある活動と消防力の充実を図ることを目的とする。	H24	消防団員	【新入団員への貸与】 制服・制帽・活動服・アポロキャップ・黒短靴・ベルト・ネクタイ 【経年劣化した貸与品の更新】 制服・制帽・活動服	消防組織法、登別市消防団条例・同規則	消防団員数 ※条例定数は191人	人	157	160	191	191	191	191	国庫支出金								H24以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持	・地域住民の防災意識向上と、消防力の充実強化を図るため、消防団員の増員は必要である。 ・消防団員の増員に伴う貸与品の購入は安全管理の面からも必要不可欠である。	消防団の活気ある活動と消防力の充実・強化により、地域住民の安心・安全を守るため、継続して事業を実施していく。
																					道支出金												
										H25	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり								地方債								H25	上記のとおり			
																					その他												
										H26	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり	－	－	－	－	－	－	－	一般財源		906	906	906	906	906	906	H26	上記のとおり			
																					合　計		906	906	906	906	906	906					
2	1-④	登別消防創設100周年記念事業 23214006	消防本部	消防総務G	H25	H25	ソフト	一般会計	消防創設100周年を契機に、各種記念行事を行うことで、市民に広くＰＲすることとにより防火意識の啓発と高揚を図ることを目的とする。	H24	－	－	－	消防創設100周年記念式典	人		262					国庫支出金								H24以前	消防創設100周年に向けて、記念事業の内容の検討を行った。	終了	・事業実施を通じて、広く市民の防火意識の啓発と高揚を図ることができた。 ・本事業は、記念事業であり、平成25年度事業で目的を達成したことから、終了する。	平成25年度で事業終了
																					道支出金												
										H25	市民	大正２年に発足し、平成25年度で100周年を迎えたことから、記念事業を実施した。 【事業内容】 ・記念誌編纂 ・式典・祝賀会の開催 ・100周年ＰＲ行事（消防救急フェスティバルや市内のイベント等で講習会やＰＲ等を行った。）										地方債								H25	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。			
																					その他												
										H26	－	－	－	各種記念行事(市民)	人		1,000					一般財源			1,000					H26	－			
																					合　計		0	1,000	0	0	0	0					

NO	施策	事業名【事務事業コード】	部名及びグループ名		開始年度	終了年度	事業区分	会計種別	事業の目的	評価	評価の判断理由、特記事項など（妥当性、有効性、効率性、成果）	今後の事業の方向性【H27以降】
3	1-④	消防団軽可搬式小型ポンプ整備事業 23214008	消防本部	消防総務G	H25	H25	ハード	一般会計	各種訓練、火災予防啓発、応急手当普及災害時に、後方支援活動を行う登別市消防団女性分団が使用する軽可搬ポンプを購入し、操法訓練などを実施することにより、大規模災害に備えることを目的とする。	終了	・軽可搬ポンプを購入し訓練することにより、女性分団の士気高揚を図ることができた。 ・軽可搬ポンプは、１度購入することで、長期間の使用が可能であることから、今後、更新が必要な時期に購入を行う。	平成25年度で事業終了。 軽可搬ポンプは、１度購入することで、長期間の使用が可能であることから、今後、更新時期について検討を行っていく。
4	1-④	空気呼吸器及びＦＲＰボンベ更新事業 23221027	消防本部	消防総務G	H25	—	ハード	一般会計	空気呼吸器及び空気呼吸器用ボンベを計画的に更新することにより、現場活動時の隊員の安全を確保することを目的とする。	維持	高圧ガス法等に基づき、廃棄基準があるため、更新する必要があり、計画的な整備を進めることができている。	高圧ガス法等に基づき、廃棄基準があるため、更新する必要があり、計画的な整備を進めていく。
5	2-④	大規模災害用備蓄器具等整備事業 23224001	消防	警備G	H25	—	ソフト	一般会計	老朽化した資器材を整備することにより、大規模災害時の救助活動の円滑化・効率化と災害派遣時の資器材確保を目的とする。	維持	・大規模災害時における救助活動の円滑化及び効率化を図るとともに、災害派遣時に地元災害に対処できない事態を避けるためにも、今後も事業を継続することが必要である。	大規模災害用備蓄器具等整備事業整備計画に基づき、15年を目途に資器材の更新を行っていく。

NO	年度	対象者等 ※ハード事業の場合は、施設名を記載	事業の内容	根拠法令、条例、要綱等	年度	第2期基本計画第3次実施計画期間中（H24～H26）における事業内容の変更・改善等の状況
3	H24	—	—	—	H24以前	既存の軽可搬ポンプの更新が必要であることから、購入に向けた検討を行った。
3	H25	登別市消防団女性分団	軽可搬ポンプを購入を１台購入した。		H25	新たに軽可搬ポンプを１台購入した。
3	H26	—	—	—	H26	—
4	H24	—	—	—	H24以前	高圧ガス法等に基づき、廃棄基準を踏まえた、計画的な整備を行うための検討を行った。
4	H25	消防職員	空気呼吸器及び空気呼吸器用ボンベを計画的に更新する。	高圧ガス法	H25	高圧ガス法等の廃棄基準に基づき作成した整備計画により、事業を実施する。
4	H26	上記のとおり	上記のとおり実施予定	上記のとおり	H26	上記のとおり
5	H24	—	—	—	H24以前	災害用備蓄器具が不足していたことや、使用している器具が耐用年数を迎えることから、計画的に整備が必要となるため、更新時期について検討を行った。
5	H25	市民	現有の救助用資器材は配備から20年以上の経過で老朽化しているため、資器材を更新し各車両に積載した。 【購入実績】 ・エンジンカッター		H25	大規模災害用備蓄器具等整備事業整備計画に基づき更新を行った。
5	H26	上記のとおり	上記のとおり実施予定 【購入予定】 ・エンジンカッター ・チェーンソー	上記のとおり	H26	上記のとおり

NO	指標名	単位	H24実績	H25実績	H26目標	H27目標	H28目標	H29目標
3	軽可搬ポンプ	台		1				
3	—	—	—	—	—	—	—	—
4	空気呼吸器	器		9		3	3	3
4	空気呼吸器用ボンベ	本		23	12	12	12	12
5	エンジンカッター購入数 ※替刃等の付属品を含む	式		2	1	2	1	
5	チェーンソー購入数 ※替刃等の付属品を含む	式			1	2	2	2

各年度の決算額、当該年度の予算額、今後の予算案【 単位 ： 千円 】

NO	名称		H24決算	H25決算	H26予算	H27予算案	H28予算案	H29予算案
3	国庫支出金							
3	道支出金							
3	地方債							
3	その他							
3	一般財源			735				
3	合 計		0	735	0	0	0	0
4	国庫支出金							
4	道支出金	石油貯蔵施設立地対策等交付金		6,000	1,400			
4	地方債							
4	その他							
4	一般財源			99	280	2,730	2,730	2,730
4	合 計		0	6,099	1,680	2,730	2,730	2,730
5	国庫支出金							
5	道支出金							
5	地方債							
5	その他							
5	一般財源			406	509	1,230	860	543
5	合 計		0	406	509	1,230	860	543

	区分【再掲】	H24決算	H25決算	H26予算	H27予算案	H28予算案	H29予算案
全会計 合計	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	道支出金	0	6,000	1,400	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	906	3,146	1,695	4,866	4,496	4,179
	合計	906	9,146	3,095	4,866	4,496	4,179
一般会計 合計	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	道支出金	0	6,000	1,400	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	906	3,146	1,695	4,866	4,496	4,179
	合計	906	9,146	3,095	4,866	4,496	4,179